

事務事業名	根本山いきものふれあいの里管理運営事業				担当	産業環境部 環境課(根本山) 根本山自然観察センター		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-6280		
施策名	4	自然環境の保全と保護			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	根本山自然観察センター設置、管理及び使用条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成4年度~)		
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	5. 根本山自然観察センター費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)		
事業概要	根本山いきものふれあいの里は、平成4年に開所した。施設として、センター(木造平屋437.24平方メートル、物置(39.75平方メートル)、観察舎3棟、駐車場(大型バス3台、普通乗用車約20台)を備えている。また、自然とのふれあいの場を創出し、身近な自然の理解を深め、環境保全と自然保護の普及、環境学習の場として活用を図っている。なお、センターは、月曜日を除いて原則開館している。県内では環境庁の「ふるさといきものふれあいの里整備事業」の認定を受けた唯一の施設である。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度実績 ・しぜん体験教室や生き物調査の開催をした。 ・学校等の団体利用の際、自然観察ガイドの対応。 ・常設プログラム「野鳥のクラフト(工作)」などの開催をした。 ・館内展示の入れ替え等を実施した。 ・施設管理としてセンターのバルコニー改修工事を実施した。 29年度計画 平成28年度事業を継続実施する	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・市民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利用者が「しぜん体験教室」などの事業に参加することにより、自然の大切さを理解してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)
④ 結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 自然環境保全の意識の高揚	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)
ア:利用者数		人	14,430	7,055	6,705	6,415	6,500
イ:利用団体数		団体	68	61	61	64	65
ウ:野鳥クラフト体験者数		人	751	942	767	957	1,000
エ:							
オ:							
ア:市内の自然環境の保全活動に参加している市民の割合		%	14.6	12.5	15.2	23.9	24.0
イ:市民の環境保全ボランティア活動への参加の割合		%	39.8	44.2	41.3	42.0	43.0
ウ:							
エ:							
オ:							

(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	9,000	
		一般財源	千円	4,313	6,062	4,469	5,359	4,392
	事業費計(A)		千円	4,313	6,062	4,469	14,359	4,392
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	4,063	4,063	4,046	4,046	4,063
		人件費計(B)	千円	16,512	17,150	16,953	16,803	16,874
トータルコスト(A)+(B)		千円	20,825	23,212	21,422	31,162	21,266	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	環境庁のふるさといきものふれあいの里整備事業として平成元年に認定を受け、平成4年に開所した。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成24年度、平成25年度は再び開催された「桜まつり」にあわせて、入館者数が増え、特に、11月中旬から12月上旬のシキザクラの開花の時期には、他県からの紅葉狩りを目的とした観光バスツアーの利用があり、入館者が多かったが、平成26年度から観光バスツアーの利用が大幅に減ったことにより、利用者数が減少している。 平成28年度にバルコニー改修工事を実施した(工事費等9,820千円)
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	しぜん体験教室の参加者からは、「楽しかった」、「また、参加したい」などの声が多かった。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市の自然環境保全を図ることに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市が管理運営する環境学習施設である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 全市民を対象とした環境学習施設である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある しぜん体験教室など利用者の要望等を取り入れた新しい企画を常実施するなどして、利用者を確保している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 自然環境の悪化や希少生物が失われ、環境保全・保護の意識が薄れる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理運営に必要な最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理運営に必要な最小限の人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 全市民が対象である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							